

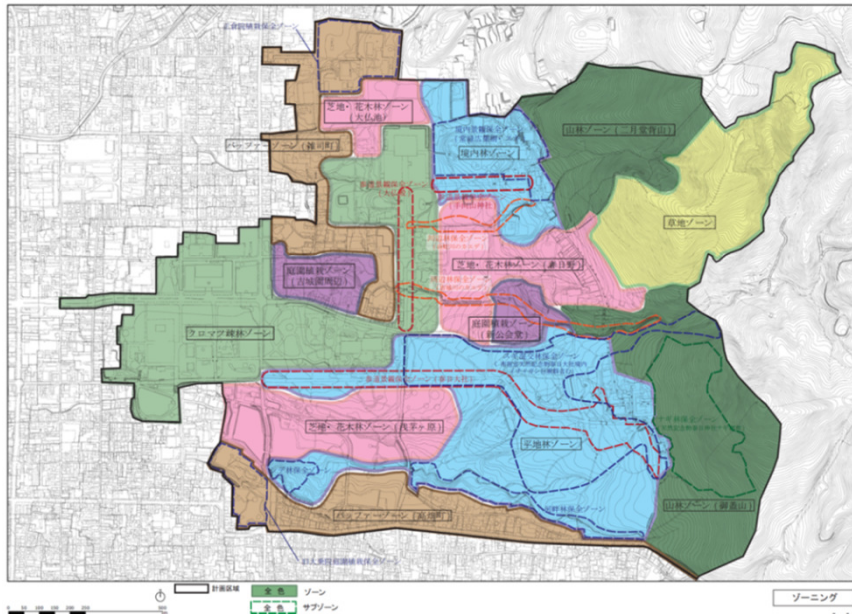
## 【報告資料】

### 奈良公園内の他計画の報告

- 奈良公園の植栽の適切な管理.....1
- 春日山原始林の保全.....3
- 奈良公園の地区整備について.....5

## 奈良公園の植栽の適切な管理

◇ 奈良公園一帯の植栽の目標と植物管理のあり方を定め、適切な植物管理をしていくため奈良公園植栽計画を策定する。  
これにより、自然資源や歴史文化資源を守り、景観や公園利用の魅力を高める。



**奈良公園植栽計画検討委員会**

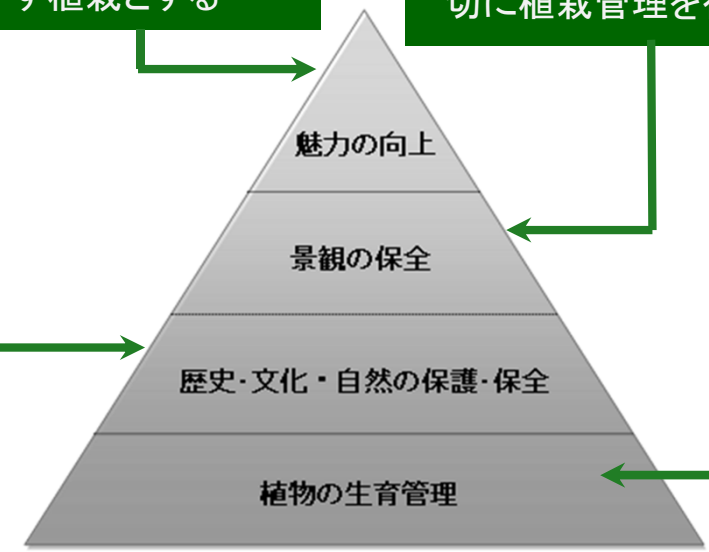
第1回:平成24年11月2日 第2回:平成24年12月21日  
第3回:平成24年3月14日 第4回:平成25年6月12日  
第5回:平成25年10月30日 第6回:平成26年2月12日

|     |       |              |
|-----|-------|--------------|
| 委員長 | 尼崎 博正 | 京都造形芸術大学 教授  |
| 委 員 | 井原 縁  | 奈良県立大学 准教授   |
|     | 西田 正憲 | 奈良県立大学 教授    |
|     | 増田 昇  | 大阪府立大学大学院 教授 |

## 基本方針

奈良公園の資源や特徴  
を活かし、魅力を引き出  
す植栽とする

奈良を代表する眺望景観を保全するため、適切に植栽管理を行う



奈良公園の歴史、文化、自然、景観を守るため、重要な樹木や樹林を保全する

植物の適切な育成・管理・更新により、植物本来の魅力を引き出す

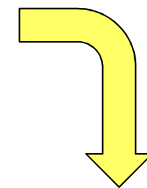
# 奈良公園植栽計画 進行状況

## 実施済みの内容

- 計画の基本方針  
…基本方針及びゾーニングを策定した。
- クロマツ疎林ゾーンの植栽計画の検討  
…クロマツ疎林ゾーンの植栽に特性を明らかにし、計画方針、計画目標を検討。
- モデル地区実施計画の検討  
…猿沢池周辺等をモデル地区として植栽整備と管理について検討。
- 猿沢池シダレヤナギ植替  
…調査、検討を経て、北側部分の植替工事完了。南側は今年度予定。

## 今後の取り組み内容

- ゾーンごとの植栽計画策定  
…芝地・花木林ゾーン等、順次ゾーンごとの計画を策定する。
- 植栽整備の実施  
…強剪定樹木の処置、ナンキンハゼの駆除、後継木育成、樹種構成・密度の改善等、植栽整備を実施する。
- 管理マニュアルの策定及びその実践  
…病虫害対策、重要樹木保全、剪定方法の改善等、植栽管理をマニュアルにまとめた上、実施する。



維持

春日山原始林の保全

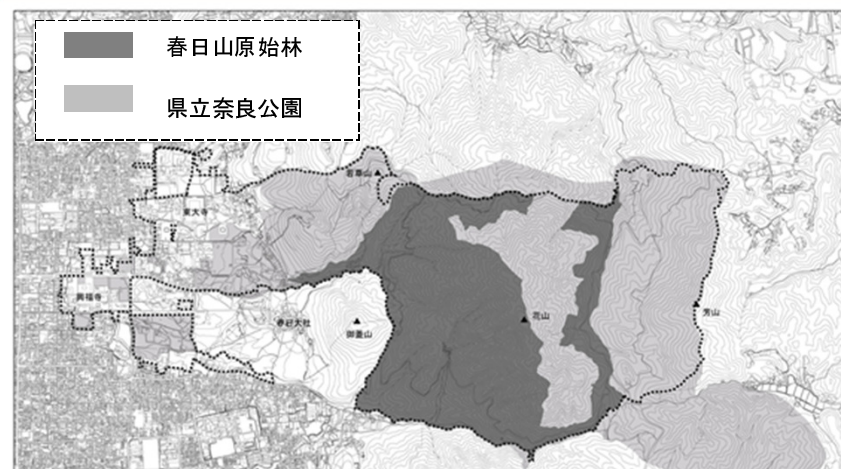
◇ 春日山原始林を保全し、次代に継承するため、春日山原始林保全計画を策定する。  
さらに、喫緊の課題に対応するための効果的な方策を確立するために、実証実験とその検証により、着実に保全につながる取り組みを推進する。



後継樹・  
下層植生  
が更新不  
良の林の  
状況



ナラ枯れ  
被害を受  
けたコシ  
イ大径木



春日山原始林保全計画検討委員会

第1回 平成25年2月8日、第2回 平成25年4月26日  
第3回 平成25年9月4日 第4回 平成26年4月11日

|     |       |                 |
|-----|-------|-----------------|
| 委員長 | 吉田 博宣 | 京都大学 名誉教授       |
| 委員  | 川瀬 浩  | 春日山原始林市民連絡会 代表  |
|     | 佐野 純子 | 奈良 インターカルチャー 代表 |
|     | 田中 和博 | 京都府立大学大学院 教授    |
|     | 前迫 ゆり | 大阪産業大学大学院 教授    |
|     | 松井 淳  | 奈良教育大学 教授       |
|     | 宮城 俊作 | 奈良女子大学 教授       |
|     | 山倉 拓夫 | 大阪市立大学 名誉教授     |

花山・芳山地区保全・利活用部会

第1回 平成25年3月18日  
第2回 平成26年2月19日

|     |        |              |
|-----|--------|--------------|
| 部会長 | 田中 和博  | 京都府立大学大学院 教授 |
| 委員  | 花山院 弘匡 | 春日大社 宮司      |
|     | 五條 良知  | 金峯山寺 執行長     |
|     | 宮城 俊作  | 奈良女子大学 教授    |
|     | 寺岡 伸吾  | 奈良女子大学 准教授   |

## 春日山原始林保全計画 進行状況

### 実施済みの内容

- 保全計画の検討 …目標値及び具体手法を検討した。
- 植生保護柵の設置 …実証実験として5箇所の柵の設置を行った。
- 隣接する人工林での文化財修理資材供給可能性の検討 …桧皮採取実験を実施した。

植生保護  
柵の設置  
状況



### 今後の取り組み内容

- 保全計画の策定  
実施計画、マニュアルを検討する。
- 植生保護柵の継続設置、モニタリング調査の実施  
引き続き設置数を増やしていくとともに、モニタリング調査実施によって柵設置箇所の植生の変化を追跡する。
- 外来種の駆除  
ナンキンハゼ、ナギ等の外来種の拡大状況を巡視し、除去を行う。
- ナラ枯れ対策  
ナラ枯れ被害拡大状況を巡視し、被害木の処置を行い、被害拡大を抑制する。
- 原始林保全活動に参画する組織作り  
奈良公園観光地域活性化基金の受け皿ともなる組織を作り、多様な主体の参画を促進する。
- 隣接する人工林での間伐、桧皮採取  
花山・芳山人工林の適正管理を行う。一部は文化財修理資材供給林としての管理を行う。



モニタリング調  
査



ナラ枯れ対策

# 奈良公園の地区整備 進行状況

## 奈良公園地区整備検討委員会

奈良公園は、周辺市街地・山麓・社寺等とのバランスが保たれ特有のイメージを保持してきたが、今日、公共交通の未整備、老朽化した県有施設や、活用が図られていない県有地などへの対応が課題となっている。

このため、奈良公園及び周辺（奈良公園地区）における課題を解決し、奈良公園地区の更なる魅力や価値の向上を図るため、拠点や施策ごとにおける基本構想の策定を計画している。

本検討委員会は、奈良公園地区の資源や魅力を認識し、その価値を高めるために必要な整備に関して、幅広い見地から様々な意見を伺うことを目的とする。

委員名簿

平成26年2月10日時点

### 進捗状況

平成22年12月20日 第1回  
平成23年3月25日 第2回  
平成23年11月24日 第3回  
平成23年12月26日 第4回

#### 《議題》

- ・奈良公園地区整備に向けた考え方の整理(奈良公園全体の整備に関する事)
- ・吉敷園周辺整備に関する事
- ・奈良公園周辺の交通対策に関する事

第4回までの議論を踏まえ、基本戦略を策定

平成24年2月 奈良公園基本戦略策定

基本戦略に基づき個別課題を検討

平成25年7月31日 第5回  
平成25年11月8日 第6回  
平成26年2月10日 第7回

#### 《議題》

- ・登大路ターミナルの整備について
- ・吉敷園周辺整備に関する事
- ・若草山モノレールについて

|     |       |                          |
|-----|-------|--------------------------|
| 委員長 | 増井 正哉 | 奈良女子大学生生活環境学部教授          |
| 委員  | 井原 縁  | 奈良県立大学地域創造学部准教授          |
|     | 北口 照美 | 奈良佐保短期大学生生活未来科特任教授       |
|     | 佐野 純子 | 奈良インターカルチャー代表            |
|     | 塚口 博司 | 立命館大学理工学部教授              |
|     | 平井 宗助 | なら瑠璃絵実行委員会会長             |
|     | 西口 実  | 社団法人奈良経済産業協会青年経営者部会 部会長  |
|     | 坂井 賢次 | 一般財団法人奈良県ヒューマンズビューロー専務理事 |
|     | 前田 剛志 | 奈良商工会議所青年部会長             |
|     | 伊藤 政夫 | 社団法人奈良青年会議所理事長           |
|     | 山本浩扶臣 | 特定非営利活動法人なら燈花会の会長        |
|     | 遊津 隆義 | 奈良県地球温暖化防止活動推進センターセンター長  |

# 若草山のにぎわいづくり

奈良公園基本戦略による施策事業の展開

奈良公園の魅力向上・地域の活性化

- 若草山の入山者数はピーク時に比べ1/4程度まで落ち込んでおり、若草山のにぎわいづくりを進め、さらなる魅力の向上に努めるとともに、地域の活性化が必要である。 ※ ピーク時：約47万人(59頃)→約12万人(現在)

## 「若草山のにぎわいの変遷」

明治時代：牛の放牧  
 大正11年：ケーブルカー設置計画（北側裏面を一重目まで）  
 大正14年：エスカレータ設置計画（北側裏面を一重目まで）  
 昭和22年：宝探し、登山競争  
 昭和24年：グラススキー、宝入りみかんまき、ウサギ生捕り競争  
 昭和25年：若草山テント村、賞品付き花火打上げ  
 昭和27年：登山競争、芝生パチンコ  
 昭和28年：飛行機による賞品ビラまき、大仏スマート など  
 昭和29年：グラススキー、飛行機による賞品ビラまき、仕掛け花火など  
 昭和30年：飛行機による賞品ビラまき  
 昭和63年：なら・シルクロード博覧会、会場撤去時に春日野園地を整備  
 平成18年：商工会議所から提案書  
 平成22年：平城遷都1300年祭  
 平成23年：山麓店舗前改修、登山道、北側トイレの整備  
 平成25年：ぐるっとバスの若草山麓までの運行



昭和20年代後半



昭和32年



現在



昭和28年



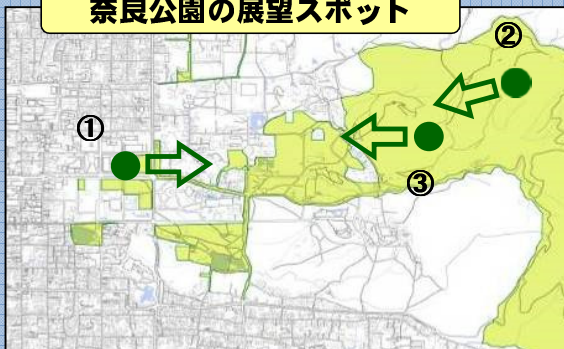
昭和35年



奈良公園の展望スポットの更なる強化  
 ・誰もが楽しめる若草山一重目眺望の魅力を開掘

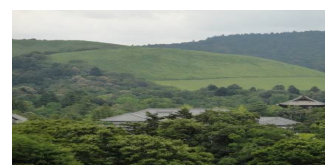
- 若草山のにぎわいづくりにより、魅力の向上や、地域の活性化になることを目指し、じっくりと議論

## 奈良公園の展望スポット



### ①県庁屋上

若草山、東大寺を見上げる眺望



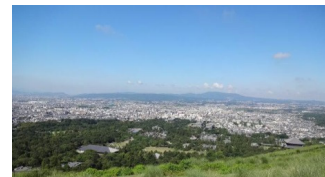
### ②若草山 三重目

奈良盆地を見渡す眺望



### ③若草山 一重目

東大寺の鴟尾を見下ろす眺望



- 階段
- エレベーター

- 登山道
- マイカー

- 登山道
- 方法の検討

軽装の方や高齢者、障害のある方は困難

誰もが三大展望スポットで楽しめる！

魅力向上・地域の活性化

奈良公園基本戦略の実現